

2016年11月10日発売 がんとの静かなる「闘い」

# 転移以後

## がん2000日 共生録

河 畠 修 著

★定価**1620円** 本体1500円+税 四六判・並製 150ページ

★生活思想社 ISBN 978-4-916112-28-6 C0095

前立腺がん切除から数年。  
忘れられた頃に告げられた、がん転移。  
抗がん剤治療を受けながら、  
がん治療とはどういうものか、  
「死」をどう考えたらいいのか、  
がんとともに生き続ける日々の暮らし。

★河畠 修 (かわばた・おさむ)

1935年生まれ。放送局勤務で医療・高齢者福祉番組を広く担当。退職後は愛知みずほ大学、浦和大学ほかで高齢社会論などを講義。2006年には世田谷区福祉人材育成・研修センター・センター長を務める。著書『ヨーロッパ老いの明け暮れ』(NHK出版)、『ドイツ介護保険の現場』(旬報社)、『福祉史を歩く 東京・明治』(日本エディタースクール出版部)など、多数。



◆図書出版 **生活思想社** 〒162-0825 新宿区神楽坂2-19-506  
電話・FAX 03-5261-5931 (自動切替)  
メール GFD05112@nifty.com <http://seikatusisosya.life.coocan.jp>

生活思想社

検索

注文カード	流通地方・小出版センター扱い	貴店名 (帖倉)	注文冊数	<b>転移以後</b> —私がん2000日 共生録 河畠 修 著	定価1620円
				発行所名 ●生活思想社 電話・FAX 03-5261-5931 ISBN978-4-916112-28-6 C0095 ¥1500E	

## 目次

プロローグ 二〇一四年九月

- 一 再発・転移への治療
- 二 秋・一〇月 点滴入院
- 三 入院点滴から退院後の日々へ
- 四 通院による抗がん剤点滴
- 五 秋から冬へ・在宅療養の日々
- 六 冬の到来・いろいろな副作用
- 七 年を越して・がんが小さくなっていく
- 八 二〇一五年五月・点滴は中休み
- 九 夏から秋へ・一年続いた抗がん剤点滴

エピローグ 二〇一六年一〇月

**注文書** ファクス番号 03-5261-5931 ネット書店でも販売しています

このチラシをファクス（メールGFD05112@nifty.comに「チラシを見た」でもOK）していただければ、送料無料、消費税サービス（1500円です）、郵便振替同封で送らせていただきます。ヤマトDM便ですので郵便ポスト投函です。領収書は郵便振替の控えをもってかえさせていただきます。領収書がご入り用の方は一筆入れてください。

個人情報 は本の発送のみ使用です。

◆『転移以後』を注文します 冊

お名前……

ご住所・〒